

今月の話題「チュウゴクアミガサハゴロモ (続報)」

先月くらいから、Web サイトに「“白いフワフワとしたものをお尻に付けた虫”がいるんですがこの虫は何でしょうか？」というような書き込みが多く見られるようになりました。お尻に羽根を付けてサンバカーニバルで踊っているようなこの虫は、外来種「チュウゴクアミガサハゴロモ」の幼虫です。

今は越冬後孵化をした幼虫が、たくさん枝に付いている様子が皆さんの目にとまっているようです。葛葉緑地では昨年秋にこの虫の産卵痕に気付き、春の大量発生を懸念して、産卵痕のある枝を目に付く限り徹底的に取り除くように心掛け、卵の駆除を実施しました。しかし、全ての駆除は不可能だったようで、枝の目立つ所や、吊り橋の欄干などでも、この幼虫が観察されています。先日はくずはの家の職員が羽化直後成虫を見つけ写真を撮影しました。羽化したばかりの成虫は、乳灰色の薄いグレーの翅(はね)で、美しさも感じました。このあと翅には生化学的な反応が起こり、硬化着色して、チョコレート色の翅になります。

この昆虫は日本では年2化性であること(1年に2回成虫が発生する)が知られていて(お隣の韓国では年1化だということです)、4月後半から5月に孵化した卵からは、初夏(6月～7月)に第一世代の成虫が羽化します。この第一世代の成虫が産んだ卵からは、9月～12月に第二世代の成虫が生まれます。この成虫は

細い枝を好んで産卵し、枝先に傷を付けて休眠卵を産んだのち、腹端からロウ物質を出して白いフワフワが付いた越冬卵塊ができます。昨年末はこの段階で大量の卵塊が確認され、今年の大発生が予想されました。たくさんの幼虫や成虫が枝先から吸汁することで、枝が枯れたり、ブルーベリーなどでは果実に栄養が行かなくなったりして実りが悪くなります。また、アブラムシと同じで、吸汁したあとの排泄物(糖分を多く含むので甘露と言います)に黒いカビが生え、植物にすす病と呼ばれる病気を発生させます。葉にすす病が発生すると、光合成が阻害されて樹勢が弱ってしまいます。

動画サイトを見てみると多くの人たちが、この虫の対策に取り組んでいるようです。白い幼虫は一見のろまそうに見えますが、実はジャンプ力に優れ、捕まえようとするとピョンと跳んで逃げてしまいます。そこで片手にラケット型の電撃ショッカーを構え、もう一方の手で幼虫を追い込み、バチバチと駆除する方法や、翅があり飛んで移動する成虫では、“黄色い”粘着台紙を枝先に吊り下げ、産卵に飛来する成虫をくっつけて駆除する方法などいろいろ対策が行われています。なぜか理由は分か



羽化したばかりの
チュウゴクアミガサハゴロモ



6/13(土)「環境DNA講座」(25人)

参加者の声・環境DNAは初めて知りました。DNAで生き物の種類がわかるなんておどろきです。身近なところに何が生きているのかが知れるとは!!興味深いです。環境を考えるきっかけになりました。ありがとうございました。
・環境DNA採水も手軽で市民参加できる調査だという事がよく分かった。楽しくできる工夫があると協力者も増えそう。



行事報告



6/14(日)「自分で調べるヤマビルのひみつ」(17人)

参加者の声・目があることをはじめてしった。たのしかった。ヤマビルのたまご、いかにきれいだった(こども)
・ヤマビルについて知識が無く、怖いものでしたが、実験をしながら慣れていき、だんだんかわいくなってきました。怖いものからおもしろいものになり、見方が変わりました。参加出来てよかったです。卵がきれいでびっくり!!(大人)



くずはの家

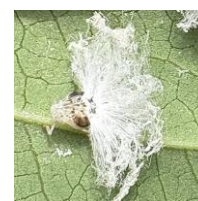
夏休み自然教室案内

★定員に達しなかった行事は14日(火)以降に電話・メールにて先着順で受け付けます。
空き状況はホームページをご確認ください。

テ	マ	日	時・対	象
①	ちびっこあつまれ!川あそび	7月20日(月祝)	9:30~11:00	3~6才の幼児と保護者20名(保険代50円)
②	葉っぱのたたき染めに挑戦	7月24日(金)	9:30~12:00	小学生以上20名
③	こども地学教室~実物岩石MY図鑑づくり~	7月25日(土)	9:30~11:30	小学3年生以上20名(材料費200円)
④	親子で水遊び~竹の水でっぼう作り~	7月26日(日)	9:30~12:00	親子30名(保険代50円)
⑤	水生生物教室	7月28日(火)	9:30~12:00	小学生20名(保険代50円)
⑥	こども昆虫教室(講師:館野鴻氏)	7月30日(木)	9:30~11:30	小学生以上30名
⑦	セミの羽化観察	8月1日(土)	18:30~20:30	どなたでも30名
⑧	クモのふしぎ大発見!~はじめてのクモ観察~(講師:谷川明男氏)	8月2日(日)	9:30~11:30	小学生以上20名
⑨	ナイトウォッチング~夜の森探検~	8月8日(土)	18:30~20:30	小学生以上30名
⑩	バイオメティクス入門~生物の知恵を学ぼう~(講師:山崎英数氏)	8月9日(日)	9:30~11:30	小学4年生以上20名

※昼の行事は小学2年生以下、夜の行事は小学生以下保護者同伴

りませんが、黄色いものに嗜好性がある、黄色い台紙によく集まるんだそうです。神奈川県では、神奈川県農業技術センターから防除情報(病害虫情報号外 第8号)(令和8年1月20日)が発出され、被害および発生過程、防除対策について報告がされています。チュウゴクアミガサハゴロモは、現在のところ環境省が定める「特定外来生物」には指定されていませんが、その繁殖力の強さや果樹などに対する被害も出始めていることから、近い将来指定されるのではないのでしょうか。皆様のご家庭の庭木でもこの昆虫の防除をお願いいたします。文:くずはの広場所長 高橋孝洋



幼虫

行事のお申込み・お問い合わせは

電話・メールで

TEL&FAX 0463(84)7874
E-mail: kuzuhaie@city.hadano.kanagawa.jp

7月の休館日 6日、13日、21日、22日、27日

ホームページ



メールアドレス



8月の休館日 3日、10日、12日、17日、24日、31日

秦野ガス・ネイチャーパークくずは

くずはの家のボランティア活動



☆6月の活動(参加者:延べ50名)

定例会:1回目は、6月の台風で倒れた木の処理を行いました。広場で折れた大木の枝葉や幹を運ぶ重労働となりましたが、お陰様で何事もなかったかのように片付けました。セブンイレブン記念財団の助成金で購入した電動運搬機が大活躍!雨の季節を前に、水路の泥出しもして、家の周りの排水を整えました。

2回目は、毎年恒例のヤマビルおとり調査。いつもは怖がる皆さんも、今日は捕まえてやるぞ!と攻めの姿勢。昨年は1匹しか捕れませんでした。今年はシカの通りの道の調査地を追加したせいか16匹も捕獲。ドキドキ体験でした。
花壇の会:花壇の草取りと、台風で落ちた枝の片付けを行いました。花壇に大きな被害は無く、ほっとしました。

とんぼのせせらぎ

:雨の為中止でした。

☆これからの活動

定例会:7/16(木)

※8月はお休みです。

花壇の会:8/7(金)

※早朝草取りです。

とんぼのせせらぎ:7/23(木)、8/27(木)



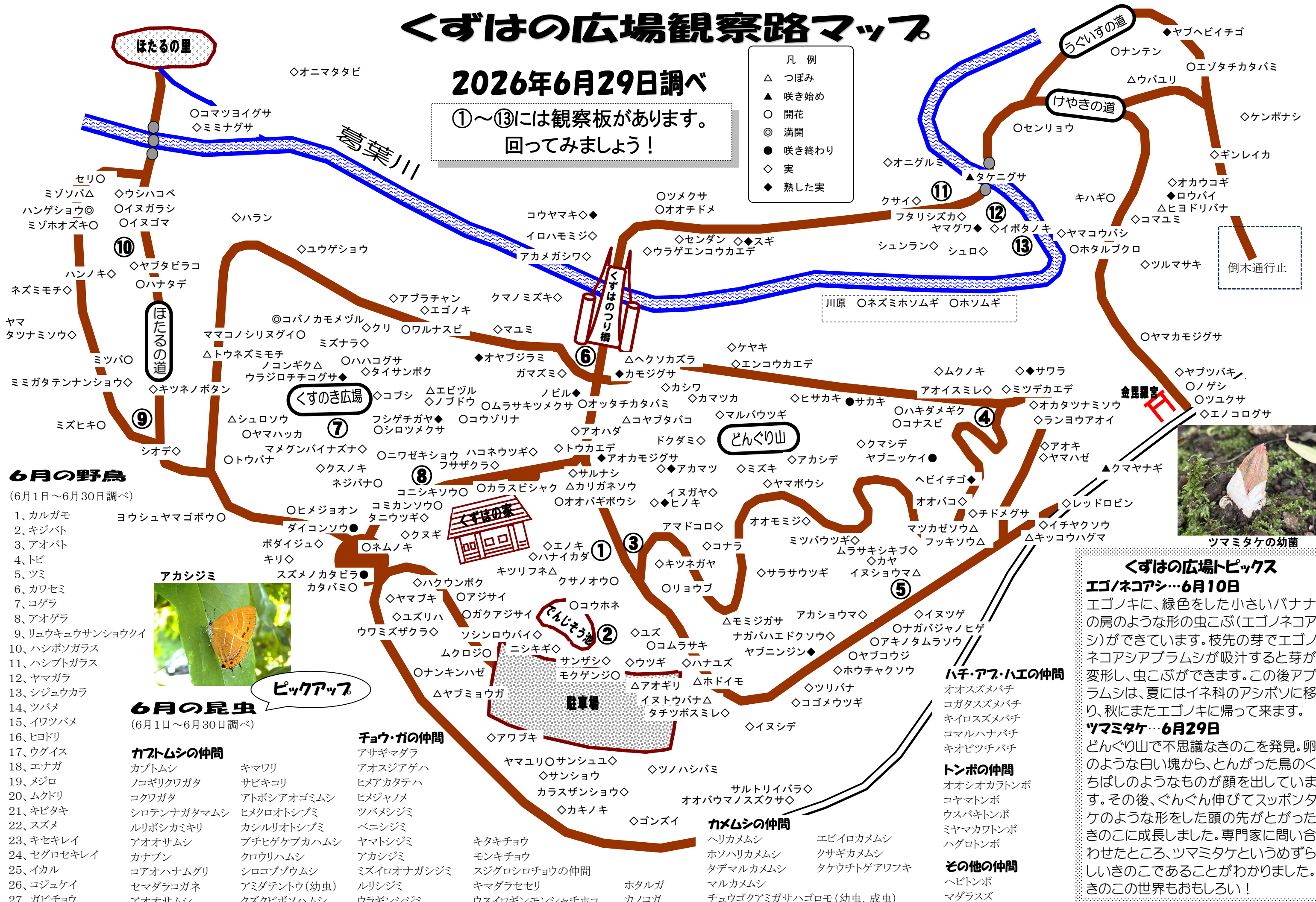
電動運搬機のお披露目

くずはの広場観察路マップ

2026年6月29日調べ

①～⑬には観察板があります。
回ってみましょう！

凡 例	
△	つぼみ
▲	咲き始め
○	開花
◎	満開
●	咲き終わり
◇	実
◆	熟した実



6月の野鳥

(6月1日～6月30日調べ)

- 1、カルガモ
- 2、キジバト
- 3、アオバト
- 4、トビ
- 5、ツミ
- 6、カワセミ
- 7、コゲラ
- 8、アオゲラ
- 9、リュウキュウサンショウクイ
- 10、ハシボソガラス
- 11、ハシブトガラス
- 12、ヤマガラス
- 13、シジュウカラ
- 14、ツバメ
- 15、イワツバメ
- 16、ヒヨドリ
- 17、ウグイス
- 18、エナガ
- 19、メジロ
- 20、ムクドリ
- 21、キビタキ
- 22、スズメ
- 23、キセキレイ
- 24、セグロセキレイ
- 25、イカル
- 26、コジュケイ
- 27、ガビチョウ

6月の昆虫

(6月1日～6月30日調べ)

カブトムシの仲間

- カブトムシ
- ノコギリクワガタ
- コクワガタ
- シロテンナガタマムシ
- ルリボシカミキリ
- アオオサムシ
- カナブン
- コアオハナムグリ
- セマダラコガネ
- アオオサムシ

- キマフリ
- サビキコリ
- アトボシアオゴミムシ
- ヒメクロオトシブミ
- カシルリオトシブミ
- ブチヒゲケブカハムシ
- クロウリハムシ
- シロコブゾウムシ
- アミダテントウ(幼虫)
- クズクビボソハムシ

チョウ・ガの仲間

- アサギマダラ
- アオスジアゲハ
- ヒメアカタテハ
- ヒメジャノメ
- ツバメシジミ
- ベニシジミ
- ヤマトシジミ
- アカシジミ
- ミズイロオナガシジミ
- ルリシジミ
- ウラギンシジミ

カメムシの仲間

- ヘリカメムシ
- ホソハリカメムシ
- タデマルカメムシ
- マルカメムシ
- チュウゴクアミガサハゴロモ(幼虫、成虫)
- エビイロカメムシ
- クサギカメムシ
- タケウチトゲアワフキ

トンボの仲間

- オオシオカラトンボ
- コヤマトンボ
- ウスバキトンボ
- ミヤマカワトンボ
- ハグロトンボ

その他の仲間

- ヘビトンボ
- マダラスズ



アカシジミ



ツマミタケの幼菌

くずはの広場トピックス
エゴノネコアシ…6月10日
エゴノネコアシに、緑色をした小さいバナナの房のような形の虫こぶ(エゴノネコアシ)ができています。枝先の芽でエゴノネコアシアブラムシが吸汁すると芽が変形し、虫こぶができます。この後アブラムシは、夏にはイネ科のアシボリに移り、秋にまたエゴノネコアシに帰って来ます。
ツマミタケ…6月29日
どんぐり山で不思議なきのこを発見。卵のような白い塊から、とんがった鳥のくちばしのようなものが顔を出しています。その後、ぐんぐん伸びてスッポンタケのような形をした頭の先がとがったきのこに成長しました。専門家に問い合わせたところ、ツマミタケというめずらしいきのこであることがわかりました。きのこの世界もおもしろい！